

## 世界 LNG 動向 2021 年 9 月

橋本裕\*

## はじめに

前例ない世界的なガス価格高騰が、2021 年 9 月も続いた。北東アジア、欧州のスポット価格は 1 ヶ月間で 2 倍近くなり、米国では 30%上昇した。前年同期比北東アジア 6.5 倍、欧州 7.3 倍、米国 2.3 倍となった。北東アジア、欧州のスポットガス価格は 2 ヶ月間、原油に対する大幅プレミアムとなっている。

スポット天然ガス価格（アジアはアセスメント）、原油				
	北東アジア	欧州	米国	ブレント原油
2021 年 9 月	33.10	33.18	5.87	13.64
2021 年 8 月	17.55	17.46	4.38	12.44
2020 年 9 月	5.10	4.56	2.53	7.35

(単位) USD / 100 万 Btu (出所) データ ICIS, ICE, CME

欧州ガス貯蔵の在庫水準は、2021 年 9 月、顕著に上昇したが、欧州連合 (EU)・英国全体での平均は、2020 年 9 月 94.7%、2018 年 9 月 82.2%に比して、74.6%と依然低い。公称容量に対してドイツ 67.6%、オランダ 58.4%と特に低く、両国を除く EU 他諸国・英国の合計では、2020 年 9 月 95.5%、2018 年 9 月 81.3%に比して、80%となった。

欧州（英国も含む）ガス貯蔵満杯率				
	ドイツ	オランダ	他 EU+英国	Eu+英国
2021 年 9 月	67.60%	58.39%	80.04%	74.63%
2021 年 8 月	59.58%	48.09%	74.03%	69.37%
2020 年 9 月	94.33%	90.93%	95.53%	94.71%
2018 年 9 月	80.17%	91.23%	81.27%	82.23%
2021 年 9 月の増加率	13.5%	21.4%	8.1%	7.6%

(出所) GIE (Gas Infrastructure Europe) データに基づく

北東アジア LNG 市場では、カーボンニュートラル LNG、あるいはカーボン/GHG オフセット LNG 取引の発表が、9 月もさらに続いた。INPEX は静岡ガス、東邦ガスに 1 カargo ずつ引き渡した。東邦ガスは 10 月、Sakhalin Energy からカーボンニュートラル/オフセットカargo 1 件を受け入れ見込み。マレーシア PETRONAS は、9 月末、中国の申能 (Shenergy) との間で、上海向けカー

\* 化石エネルギー・国際協力ユニット ガスグループ

ボンニュートラル LNG カーゴ 3 隻の取引を発表した。Bp はこれよりも先、台湾中油公司 (CPC) との間で、カーボンオフセット LNG カーゴ 1 件を CPC 向けに引き渡すことで合意したことを発表した。

#### [アジア太平洋]

静岡ガス株式会社、株式会社 INPEX は、2021 年 9 月 1 日、両社間のカーボンニュートラル LNG の引き渡しを発表した。同月上旬、清水エル・エヌ・ジー株式会社袖師基地 (静岡県静岡市) で引き渡された。

川崎汽船 ("K" Line) は、9 月 21 日、3 月に竣工した自社初の LNG 燃料自動車専用船「CENTURY HIGHWAY GREEN」に続き、2023 年度から 2025 年度までに計 8 隻の 7,000 台積み LNG 燃料自動車専用船の調達を決定し、そのうち日本シップヤード株式会社、株式会社新来島どっく、招商局南京金陵船舶有限公司とそれぞれ 2 隻の新造船建造を合意したことを発表した。

商船三井 (MOL) は、グループ会社である日本栄船株式会社が運航する LNG 燃料タグボート「いしん」が、大阪ガスより、2021 年 9 月 1 日に国内で初めて船用燃料としてカーボンニュートラル LNG (CNLNG) の供給を受けたことを翌 2 日、発表した。大阪府堺泉北港において Truck to Ship 方式で供給された。

bp、日本郵船 (NYK) は、9 月 15 日、脱炭素をさらに推進するための戦略的パートナーシップに関する覚書を締結したことを発表した。今後、従来の船舶用燃料から LNG、バイオ燃料、メタノールなどの代替燃料への移行を促進し、アンモニアや水素などの将来的なゼロエミッションの船舶用燃料を開発する。

ベトナム計画・投資省傘下のベトナム投資レビューによれば、AES Corporation ・ PetroVietnam Gas JSC (PV Gas) は、2021 年 9 月末、同国南中部ビントゥアン省の Son My LNG 基地に関する合弁事業契約を締結した。同基地は 2022 年に資金調達完了、2026 年稼働開始を見込んでいる。同基地は、AES の 2.2GW CCGT Son My 2 発電設備を補完するものとなる。AES は同発電設備の開発に関して、2019 年 9 月に同国政府から承認された。同発電設備は、同国政府と 20 年契約を持つこととなる。

JERA は、2021 年 9 月 27 日、フィリピン大手電力会社 Aboitiz Power Corporation の発行済み株式の約 27%を取得するため、同社の親会社 Aboitiz Equity Ventures Inc. 等との間で、株式売買契約を締結したことを発表した。LNG to Power プロジェクトの共同開発や、火力発電所での技術協力に合意しており、LNG 調達の協業に関する基本合意書を締結したことも明らかにした。

中国の上海石油天然气交易中心 (SHPGX) は、2021 年 9 月 29 日、LNG 輸入スポット価格指標「中国进口现货 LNG 到岸价格」を発足した。

bp Singapore は、9 月 6 日、台湾中油公司 (CPC) 向けに、同社永安基地に、bp LNG ボートフォリオから調達したカーボンオフセット LNG カーゴを引き渡した、と発表した。ア

ジア太平洋地域で bp 初のカーボンオフセット LNG 引き渡しであり、7 月メキシコ Energía Costa Azul 基地向けで自社世界初の引き渡しに続くもの。

New Fortress Energy (NFE)、スリランカ政府は、9 月 21 日、NFE によるコロombo 310 MW Yugadanavi 発電設備所有企業 West Coast Power Limited (WCP) への投資、同市沖新規 LNG 基地の開発権について公式合意に達したことを発表した。NFE は、WCP の 40% 所有権を取得する予定で、コロombo沖に沖合 LNG 受入・貯蔵・気化基地を建設する予定である。NFE は当初日量 120 万ガロン（最大 35,000 百万 Btu、年間 24.8 万トン）の LNG を同基地向けに供給する。

豪連邦政府は、2021 年 10 月 1 日、新規 CCS プロジェクトの排出抑制効果をクレジットするため、排出削減ファンド (ERF) 法を構築したことを発表した。炭素を回収し地中に恒久的に貯蔵する大規模 CCS プロジェクトに、取引可能なユニット (豪州炭素クレジットユニット (ACCUs)) を与える。

Santos は、Moomba CCS プロジェクトをクリーンエネルギー規制機関に登録し、豪州炭素クレジットユニット (ACCUs) を獲得する手続きを開始することを発表した。同プロジェクトは二酸化炭素年間 170 万トンを、従来石油・ガスを維持していた同じ資源層に貯蔵することとなる。

豪州 Beach Energy は、9 月 27 日、Waitsia ガスプロジェクト第 2 段階での 2023 年後半開始見込みの自社期待生産量 375 万トン全量に関して、bp と基本合意 (HOA) を締結したことを発表した。西豪州 North West Shelf (NWS) 設備から FOB 条件となる。合意された LNG 価格は、ブレント・JKM 両方に連動。

INPEX は、2021 年 9 月 13 日、豪 Ichthys LNG プロジェクトから東邦ガス向けに供給される LNG につき、カーボンニュートラルアレンジメントを行ったことを発表した。

Bayu-Undan 合弁事業のオペレーター Santos は、9 月 14 日、ティモールレスステ規制機関 ANPM と、CCS 共同研究に基本合意 (MOU) したことを発表した。

マレーシア PETRONAS は、9 月 29 日、ビンツルの PETRONAS LNG Complex (PLC) にて 28 日午後 4.15 頃火災があったことを発表した。発生場所は冷却用海水排水路。緊急対応チームが 4.41 までに消火した。PLC 操業には影響がない。

BASF は、9 月 2 日、PETRONAS が自社 PFLNG DUA 浮体 LNG 生産 (FLNG) プロジェクト酸性ガス除去機器プロセス向けに BASF の OASE® パーブルを選定したことを発表した。PETRONAS ・日揮とともに、PFLNG DUA は 2021 年 2 月に稼働開始、同年 5 月にパフォーマンス試験を完了した。

PETRONAS は、9 月 30 日、中国の申能 (集団) 有限公司 Shenergy との間で、PLC 設備から、カーボンニュートラル LNG カーゴ 3 隻引き渡しの契約を締結したことを発表した。PETRONAS による中国向け初のカーボンニュートラル LNG 引き渡しで、申能の上海基地向けに、2021 年 10 月から 2022 年 3 月の間に引き渡されることとなる。

豪 Santos、Oil Search は、2021 年 9 月 10 日、合併合意書 (MID) 締結を発表した。両

社は 8 月 6 日に開始した相互確証型デューデリジエンス（詳細調査）を完了した。

報道によると、パプアニューギニア政府は、ExxonMobil との間で、P'nyang ガス契約・株式買い取り基本合意（HOA）を締結した。同政府持分は、PNG LNG での 49%、Papua プロジェクトでの 51%に対して、本件は 63%となる。

## 【北米】

米国の工業用エネルギー需要家団体 IECA が、2021 年 9 月 17 日付で、連邦エネルギー長官宛に、LNG 輸出に関する書簡を送付した。IECA は、連邦エネルギー省（DOE）に、連邦天然ガス法（NGA）に基づき、2021/2022 年冬季の消費者に対する供給危機・価格高騰を回避するため、米国の在庫を過去 5 年間平均水準に達することができるよう LNG 輸出者に輸出量を削減することを義務付ける措置を直ちに執ることを求めた。

ホワイトハウス発表によると、2021 年 9 月 17 日、エネルギーと気候に関する主要経済国フォーラム（MEF）は、4 トピックスを話し合い、そのひとつが COP 26 で発足を目指す Global Methane Pledge への参加可能性だった。Global Methane Pledge は米国、欧州連合（EU）が発議した動きで、2030 年までに 2020 年水準より世界のメタン排出を 30%以上削減する共同目標と、関連する各国国内行動の実施を含むものとなる。

米連邦エネルギー規制委員会（FERC）は、2021 年 9 月 22 日、Cheniere にルイジアナ州 Sabine Pass LNG 設備第 6 系列に原料ガスを導入することを許可した。容量年間 500 万トンの同系列は、2021 年末までに LNG 生産開始する可能性がある。

USQBC（米カタールビジネスカウンスル）主催のウェビナーによると、米テキサス州での Qatar Petroleum（QP）・ExxonMobil 合弁事業による Golden Pass LNG 設備第 1 液化系列は 2024 年までに稼働開始予定。

米 Venture Global LNG、ポーランド PGNiG は、2021 年 9 月 2 日、Venture Global から PGNiG への追加年間 200 万トン・20 年間の LNG 販売契約を最終決定したことを発表した。カーゴは Venture Global の Calcasieu Pass LNG ・ Plaquemines LNG 輸出設備から供給される。

ExxonMobil は、2021 年 9 月 7 日、独立認証機関 MiQ との間で、自社 Permian 盆地ニューメキシコ州 Poker Lake 設備で生産される天然ガス認証手続きを開始する契約を締結した、と述べた。

米 Tallgrass Energy、Project Canary は、9 月 28 日、前者の Rockies Express Pipeline（REX）について、Project Canary から包括的・独立環境評価・証書を受ける米国初の州際天然ガス輸送パイプラインとする複数年のパートナーシップを発表した。Tallgrass Energy は、REX は全コンプレッサーステーションを通じて、リアルタイムの排出検知・監視を実施する最初のパイプラインとなる、と述べた。

PennEast Pipeline は、9 月 27 日、ペンシルベニア州からニュージャージー州に計画していたパイプライン開発を中止すると述べた。法的・規制的な課題により、頓挫する天然ガス

ライン計画の最新事例となる。

Crowley Maritime Corporation は、9 月 1 日、Shell NA LNG, LLC との間で、米国で新規 LNG バンカーバージ建造・運航の長期備船契約を締結した、と発表した。ジョーンズ法準拠で同種最大船舶となる。

Stabilis Solutions は、9 月中旬、テキサス州 Port Isabel Logistical Offshore Terminal, Inc. (PILOT)、ルイジアナ州 Cameron Parish Port, Harbor & Terminal District (CPP) との間で、両港湾での海洋燃料としての LNG 利用促進に向け、それぞれ別に基本合意 (MoUs) を締結したことを発表した。Stabilis は、これらの燃料供給業務のため、LNG 輸送・配給に関わる既存の可動型超低温諸機器を活用、自社テキサス州 George West、ルイジアナ州 Port Allen の液化設備から LNG を供給する。LNG バンカリングサービスは、PILOT で 2022 年初、CPP で 2021 年末までに利用可能となる見通し。

Chevron は、9 月 9 日、Mercuria Energy Trading との間で、American Natural Gas LLC (ANG) および米国全体で 60 件の圧縮天然ガス (CNG) ステーション網を所有・営業する合併事業形成のための諸契約を締結したことを発表した。

Chevron は、9 月 14 日、低カーボンビジネス増強への投資増加計画を発表し、2030 年新エネルギービジネス目標を設定した。ヘビーデューティー輸送用ステーション網に供給する再生可能天然ガス生産を日量 40,000 百万 Btu に増加、再生可能燃料生産容量を日量 100,000 バレルに増加、水素生産を年間 150,000 トンに増加、カーボンキャプチャー・オフセットを年間 2500 万トンに増加。今後 2028 年までに 100 億米ドル以上を投資する見込みとしている。

発表によると、11 企業がヒューストンでの大規模な CCS 技術展開に関心を表明した。Calpine, Chevron, Dow, ExxonMobil, INEOS, Linde, LyondellBasell, Marathon Petroleum, NRG Energy, Phillips 66, Valero が、2030 年までに CO<sub>2</sub> 年間 5000 万メトリクトン、2040 年までに同 1 億トンを回収・安全に貯蔵する計画の話し合いを開始することに合意した。

Clean Energy Fuels Corporation は、2021 年 9 月 21 日、World Fuel Services, Inc. 向けに、7800 万ガロン (合計 13 万トン) の LNG を Pasha Hawaii コンテナ船 2 隻用として供給する、と発表した。

米カリフォルニア州 Southern California Gas Co. (SoCalGas) は、9 月 27 日、SoCalGas 自社に対する 2015 年 Aliso Canyon 天然ガス貯蔵設備漏洩に関わる民事訴訟が実質全て解決する見込みの、複数の合意を発表した。これらの合意の結果、SoCalGas は税引き後損金 11 億米ドルを計上する。

カナダ CBC News によると、Coastal GasLink 作業員が、9 月 20 日より、ブリティッシュコロンビア州北部の建設現場で、抗議活動のために、作業できなくなっている。

カナダの First Nations Major Projects Coalition (FNMPC)、Miawpukek First Nation (MFN) は、9 月 21 日、ニューファンドランド・ラブラドール州で沖合エネルギープロジェクトへのファーストネーションズによる初の出資参加となる LNG Newfoundland &

Labrador Limited プロジェクト（LNG NL）への出資参加拡大を検討する計画を明らかにした。同プロジェクトは、LNG NL は、沖合 Jeanne d'Arc 盆地の天然ガス資源商業化のための LNG インフラストラクチャー開発を目指す同州所有・操業の企業である。同プロジェクトでは集中型沖合ガスハブ、パイプライン、同州プラセンチア湾 Grassy Point での天然ガス液化・輸出設備が必要となる。

### [中東]

bp、ADNOC、Masdar は、2021 年 9 月 16 日、クリーン・低カーボンエネルギーへの投資に関わる 3 件の協定を締結したと発表した。

カタール Qatar Petroleum（QP）、中国海洋石油集团有限公司（CNOOC）は、9 月 29 日、LNG 年間 350 万トン、2022 年 1 月より 15 年間の長期売買契約（SPA）を締結したことを発表した。2009 年 9 月、最初の LNG カーゴが中国海油（CNOOC）に引き渡された。QP は、2021 年 8 月までにカタールは中国向けに 715 件の LNG カーゴを引き渡しており、この内 270 カーゴ（2400 万トン以上）が中国海油（CNOOC）に引き渡された、と述べた。

イタリア Edison は、2021 年 9 月 20 日、カタール産 LNG 購入のための長期契約価格見直しに関して、Qatargas を相手方とする仲裁で勝利した、と発表した。ICC（国際商工会議所）が、2019 年 Qatargas が Edison を相手取り、契約価格引き上げを求めて開始した仲裁手続きに関する決定を両社に通知した。Qatargas との契約により、Edison はカタールからイタリア向けに Rovigo 気化基地を通じて年間 65 億 m<sup>3</sup> の LNG を輸入している。

### [アフリカ]

TotalEnergies は、モザンビーク Mozambique LNG 生産日程の変更、生産開始は 2026 年の見通しとなることを確認した。

### [欧州・ロシア]

OIES による 2021 年 9 月 27 日の報告書では、欧州における今般のガス価格変動の諸要因を分析し、次の冬の見通しを示している。2020 年のパンデミックによる歪み効果を除くため、2021 年 1 - 8 月を 2019 年同期と比較している。

欧州環境機関（EEA）は、2021 年 9 月 1 日、EU 海上輸送に関する排出報告書を発行した。これによると、域外貿易の 77%、域内貿易の 35%を輸送する船舶が、陸上・航空輸送よりも遥かに効率的である。それでも海洋部門が EU 温室効果ガス排出の 13%を占める。中期的には「在来型・低カーボン化石燃料が使われ続けることとなる」と同報告は述べた。

TotalEnergies は、2021 年 9 月 28 日、戦略・見通しプレゼンテーションにて、エネルギー生産を現在から 2030 年に 30%増加、増加の半分は基本的に再生可能エネルギーからの電力、半分は LNG からとなる、と述べた。売り上げ構成は、2030 年までに石油 30%、ガス 50%、電力 15%、バイオマス・水素 5%となるとしている。TotalEnergies は投資プログ

ラムに関して規律を維持し、2022 - 25 年は年間 130 - 150 億米ドルとして、投資の 50%を自社活動成長のため、50%を自社諸活動基盤維持のため投入すると述べた。成長投資の 50%は、再生可能エネルギー・電力を中心とする新エネルギー源、残り 50%は天然ガス、基本的に LNG に向けるとしている。

TotalEnergies、Air Liquide、VINCI は、2021 年 10 月 1 日、クリーンな水素インフラストラクチャーソリューション専門の世界最大のファンド創設に向け、他大口国際企業と協力することを発表した。規模は 15 億ユーロを目指し、既に当初 8 億ユーロのコミットメントを確保している。このファンドは南北米、アジア、欧州最有望地域の再生可能エネルギー・低カーボン水素のバリューチェーン全体に投資する。

Brittany Ferries は、9 月 21 日、スペインのビルバオで Repsol による LNG バンカー設備建設が開始されたことを発表した。同バンカー基地は、2022 年上半期に完成予定である。別途サンタンデルにも LNG バンカー設備が Repsol により建設される予定。

Black Sea Oil & Gas SA、パートナー Petro Ventures Resources SRL、Gas Plus Dacia SRL は、2021 年 9 月 22 日、ルーマニアで 30 年振り沖合設置となる Ana ガス生産プラットフォーム設置完了を発表した。Ana ・ Doina ガス田のガスが同プラットフォームで収集・計量され、121 km 海底・4.5 km 陸上パイプラインで年間 10 億 m<sup>3</sup> ガス処理設備に輸送される。本件 Midia ガス開発プロジェクト全体としては 70%完成となっている。

速報値によると、ロシア Gazprom は、2021 年最初の 8.5 か月間に 3577 億 m<sup>3</sup> のガスを生産、前年同期比 17.8% (539 億 m<sup>3</sup>) 増加となった。同社は FSU 以外の諸国への輸出は 1386 億 m<sup>3</sup> に増加した。同社はこのガス供給水準を、過去最高水準 (2018 年同期 1413 億 m<sup>3</sup>) に維持しており、2020 年同期比 17.4% (206 億 m<sup>3</sup>) 大きいとしている。

ロシア Gazprom は、9 月 10 日、Nord Stream 2 ガスパイプラインの建設が、モスクワ時間同日 8:45 am に完了した、と発表した。ドイツ規制機関 Bundesnetzagentur は、9 月 13 日、同ガスパイプライン許可手続き完了に 4 ヶ月間を要する、と述べた。ロシアのエネルギー省は、Rosneft による同パイプラインでの天然ガス輸出要請を検討している、と Interfax が伝えた。

Gazprom は、9 月 27 日、自社、MVM CEEnergy が、ロシア産ガスのハンガリーへの供給について 2 本の長期契約を締結したことを発表した。両契約合計で年間 45 億 m<sup>3</sup>、15 年間となる。Gazprom は、これらの重要な要素として、供給経路多様化がある、と述べた。同社は、10 月 1 日、ハンガリー、クロアチアが TurkStream ガスパイプライン、ブルガリア・セルビア・ハンガリーの国家輸送網経由でロシア産ガスを受入開始したことを発表した。TurkStream はロシアからトルコ向け黒海縦断の年間 315 億 m<sup>3</sup> 容量の輸出用ガスパイプラインである。

Gazprom は、9 月 9 日、RusKhimAlyans、Linde、Renaissance Heavy Industries が、Ust-Luga 近くのガス処理設備 (GPC、オペレーター RusKhimAlyans は Gazprom ・ RusGazDobycha 合弁事業) における天然ガス液化設備の EPC 契約を締結したことを発表

した。Linde・Renaissance Heavy Industries 間の企業連合が、総容量 LNG 年間 1300 万トン分の 2 系列、設計・資機材供給・建設を実施する。

ロシア NOVATEK は、9 月 8 日、子会社 Yamal LNG Resource が、ヤマルネネツ自治区ヤマル半島 Arkticheskoye・Neytinskoye 両ガス田を含む 2 件の地下資源地質調査・探査・生産ライセンスの競争入札で獲得したことを発表した。両ガス田の埋蔵量は、ロシアの炭化水素等級システムに基づき、原油換算 29 億バレル相当、この内天然ガス 4130 億 m<sup>3</sup>、液体 2800 万トンとなる。ライセンス期間は 27 年間としている。

商船三井 (MOL) は、9 月 2 日、ロシア運輸省傘下の国営リース会社 "State Transport Leasing Company" (GTLK) と、カムチャッカおよびムルマンスクでの LNG 積替基地案件に関し、現在 GTLK が 100% 出資する FSU (Floating Storage Unit、浮体式 LNG 貯蔵設備) 保有会社に 49% 出資参画する方針について基本合意書を締結したことを発表した。

ロシア Arctic LNG 2 プロジェクトは、9 月 21 日、EPC 請負 Technip Energies、Saipem、NIPIGAS 連合により、第 1 系列への最初のモジュールが到着したことを発表した。この 2 件のパイラックモジュールは、中国の舟山港から NOVATEK-ムルマンスク LNG 建設センターまで海上輸送された。これから第 1 系列用の GBS (コンクリート製着床型構造物) プラットフォームまで輸送されることとなる。全体では、第 1 系列向けに 14 モジュールが請負連合の造船所から引き渡されることとなる。

商船三井 (MOL) は、9 月 14 日、NOVATEK と、新造 LNG 船 4 隻の定期備船契約を 9 月 13 日に締結したことを発表した。

株式会社国際協力銀行 (JBIC)、NOVATEK は、9 月 2 日、ロシアにおける脱炭素化に向けたプロジェクトにかかる協力推進を目的とした戦略的協力協定を締結したことを発表した。

NOVATEK は、自社経営委員会 Mark Gyetvay 副会長の法廷での審理に関して、9 月 24 日、次の声明を発表した。「...Gyetvay 氏は、自身の脱税容疑で米国の法廷審理中である。当社はこの訴訟に関しておらず、審理の詳細を知らない。NOVATEK は状況を注視しており、必要な全ての支援を行う」。

Sakhalin Energy は、9 月 28 日、自社と東邦ガスが Sakhalin-2 プロジェクトから東邦ガス向けの最初のカーボンニュートラル/オフセット LNG カーゴの引き渡しに合意したことを発表した。

地元報道によると、ロシアのサハリン州政府、Rosatom、ロシア鐵道 (TMH) は、9 月 3 日、サハリン島で水素燃料電池列車を使う鐵道事業形成への基本合意を締結した。

Rosneft は、9 月 29 日、ExxonMobil と、低カーボン技術のポテンシャルを評価するため協力する基本合意 (MOU) を締結したことを発表した。先ず CCUS に焦点を置く新規プロジェクトの可能性、水素・アンモニア等の低カーボン燃料開発を検討する。

Rosneft は、9 月 29 日、Equinor と炭素管理の協力契約を締結したことを発表した。両社はメタン排出を中心に温室効果ガス排出検知・測定・削減の技術・機器利用のポテンシ

ルに向けた共同プロジェクトを検討し、2030 年までに随伴石油性ガスの日常的フレアリングのゼロ実現を目指して進む。両社は、風力を含む代替エネルギー源利用、CO<sub>2</sub> 回収・貯蔵技術活用、水素ビジネス（ブルー、グリーン水素）開発を想定する新規プロジェクトの実施可能性を検討する。両社は上流部門新規・既存共同プロジェクトで低カーボン設計基準開発への努力で協力する。

### **[南米]**

Höegh LNG Partners LP は、2021 年 9 月 24 日、New Fortress Energy（NFE）との間で、Höegh Gallant を FSRU 運転向けに 10 年間、2021 年第 4 四半期から開始の計画で契約を締結したことを発表した。

bp Trinidad and Tobago LLC（bpTT）は、9 月 20 日、Matapal プロジェクトが最初のガス生産を達成したことを発表した。Matapal は bpTT の 2 件目の海底開発となる。その 3 本の生産井は既存 Juniper プラットフォームにタイバックすることとなる。Matapal はトリニダード国内ガス市場にガスを供給する予定で、当初の生産は日量 2.50 - 3.50 億立方フィートと見込まれる。

参考資料: 各社発表, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)